

応募書類記入要領

1 履歴書

- ① 記載するすべての年月日は元号(和暦)とすること。
- ② 「学歴」の欄には、高等学校卒業以降のすべての学歴を省略することなく正確に記入し、それ以外の場合には最終学歴について記入すること。なお、学位、称号についても同欄に記入すること。
- ③ 「職歴」の欄には、職歴(自営業、主婦・主夫、無職等を含む)のすべてについて省略することなく記入し、職名、地位等についても明記すること。各職歴について在職期間を明確にし(○年○ヶ月)、現職については末尾に「現在に至る」と記入すること。また、過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称(判定結果を含む)を記入すること。過去における高等専門学校(旧専門学校)の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定に係る時期、高等専門学校の名称、職位及び担当授業科目の名称を記入すること。
- ④ 「学会及び社会における活動等」の欄には、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入すること。また、研究教育上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記入すること。

2 研究業績等に関する事項(Excel ファイル「教育研究業績書.xls」内)

- ① 「研究業績等に関する事項」には、書類作成時において未発表のものは記入しないこと。
- ② 主要な学術論文 5 編について丸印を付して示すこと。
- ③ 「著書、学術論文等の名称」の欄については、著書、学術論文及びその他の順に適切に区分し、年月日順(過去→現在)に記入し、区分ごとに通し番号を付して記入すること。
 - ・ 著書については書名を記入すること。
 - ・ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入すること。学位論文については、その旨を明記すること(写し等を送付する必要はない)。
 - ・ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入すること。
- ④ 「単著・共著」の欄には、著書、学術論文等が共著の場合は、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入すること。
- ⑤ 「発行又は発表の年月」の欄には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入すること。
- ⑥ 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称、査読の有無」の欄には、著書については、発行所を記入すること。学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ、査読の有無等を記入すること。また、報告発表等の場合には、学会大会名等を明記すること。

学術論文等について CiNii Articles に本文が掲載されている等、オープンアクセス可能な場合は、この欄に「オープンアクセス」と記載することで、論文(抜き刷り)の送付を省略することができる。
- ⑦ 「概要」の欄は、200 字から 400 字程度で具体的に記入すること。
- ⑧ 当該著書が共著の場合には、「概要」欄に本人の担当部分の章、節、題名、及び掲載ページを明記し、また、本人の氏名(下線を付すこと)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書、学術論文等に記載された順に記入すること。また、本人担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入すること。

3 教育上・職務上の能力に関する事項(Excel ファイル「教育研究業績書.xls」内)

(1) 教育上の能力に関する事項

① 教育方法の実践例

優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容の Web 上での公開等を記入すること。

② 作成した教科書・教材

作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要を記入すること。(「著書、学術論文」と重複する場合、(再掲)と表示すること)

③ 教育上の能力に関する大学等の評価

各大学における自己点検・評価での評価結果、学生による授業評価、教員による相互評価等の結果等について記入すること。

④ 短期大学、大学、大学院等における授業担当の経験がある場合は、授業科目名および大学等の名称

短期大学、大学、大学院等における担当経験のある授業科目名および大学等の名称について、非常勤講師も含め記入すること。

⑤ 専門領域に関する社会における活動歴がある場合は講習会、研究会の講師など

専門領域に関する教育・研修、大学の公開講座、社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等を記入すること。

⑥ 該当する事項がないものについては「該当なし。」と記入すること。

(2) 職務上の実績に関する事項

① 資格、免許

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格で研究や教育に関連するものについて記入すること。

② 特許等

特許、実用新案等で教育や研究に関連するものについて記入すること。

③ 該当する事項がないものについては「該当なし。」と記入すること。

4 今後の活動の抱負(任意の様式)

今後の教育、研究、社会貢献、大学の管理運営に関する抱負をA4用紙1枚程度にまとめること。

5 担当予定科目「地域経済学」についての15回分のシラバス案(任意の様式)

大学2年次生を対象とした2単位・15回分のシラバスをA4用紙2枚以内にまとめること。

履 歴 書

フリガナ	フリ ガナ	性別
氏名	〇〇 〇〇	
生年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	
年齢	〇〇歳	
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇	
TEL	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
E-mail	〇〇〇@〇〇.〇〇.〇〇	
上記現住所以外の連絡先を希望する場合		
連絡先	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇	
TEL	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
E-mail	〇〇〇@〇〇.〇〇.〇〇	

写真添付
縦 4cm×横 3cm
※ 写真の裏に
氏名記入

学歴 (高校卒業以降記入)	
年月	事項
〇〇年〇月	〇〇県立〇〇高等学校卒業
〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業
〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇課程〇〇専攻入学
〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇課程〇〇専攻修了
〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇課程〇〇専攻入学
〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇課程〇〇専攻修了
学位	
年月	事項
〇〇年〇月	修士 (〇〇学) (〇〇大学)
〇〇年〇月	博士 (〇〇学) (〇〇大学)
職歴	
年月	事項
〇〇年〇月	〇〇振興会特別研究員 (〇年〇ヶ月)
〇〇年〇月	〇〇株式会社〇〇研究所 (〇〇研究員) (〇年〇ヶ月)
〇〇年〇月	同所 (主任研究員) (〇年〇ヶ月)
〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部 非常勤講師 (〇年〇ヶ月)
〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部 助手 (〇〇学科) (〇年〇ヶ月)

応募書類 様式 (履歴書)

〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部 講師 (〇〇学科) (〇年〇ヶ月)
〇〇年〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇課程〇〇専攻担当 (研究指導担当) 現在に至る
学会及び社会における活動等	
所属学会	
年月	事項
〇〇年〇月	〇〇学会
〇〇年〇月	△△学会
〇〇年〇月	□□学会
賞罰	
年月	事項
〇〇年〇月	

上記のとおり相違ありません。

令和〇年〇月〇日

氏名

研究助成一覧

令和〇年 〇月 〇日

氏名 〇〇 〇〇

研究費名	研究課題名及び交付金額	採択年
研究代表者として採択されたもの		
科研費	〇〇〇〇に関する研究 〇〇〇千円	平成 28 年
受託研究費	〇〇〇〇の調査研究 〇〇〇千円	平成 29 年
共同研究費	〇〇〇〇の開発 〇〇〇千円	平成 30 年
〇〇〇〇費	〇〇〇〇〇 〇〇〇千円	令和元年
研究分担者として採択されたもの（代表者名と全体の金額）		
科研費	〇〇〇〇に関する研究 〇〇〇千円	平成 28 年
〇〇〇〇費	〇〇〇〇の調査研究 〇〇〇千円	平成 29 年